

ダイバーによる一斉イベント
海から元気を 7.17



★内容は至ってシンプル

7月17日に、共通のリングを付けて同じ日に潜るだけ！

「できること。潜ること。」プロジェクト実行委員会（実行委員長・写真／中村征夫）

イベント名

海から元気を 7.17

目的・趣旨

ダイバーが海から元気を発信し、復興支援につなげる

※「できること。潜ること。」プロジェクトの趣旨もあわせてご覧ください(別紙)

内容

★イベント当日

7月17日(日)に、共通のリングをつけて、一斉に潜る。

→1番大事なことは、**みんなで意識を共有し一斉に行動を起こす**こと。

★イベント後



「笑顔でワンピース！」

■潜ったグループで写真を撮ってイベントHPへ送ってください。皆さんの写真が大きなパズルのワンピースとなって、ハッピーで

ピースな元気をお届けします！

■ダイビングエリア全体で参加者全員を撮影し、イベントHPでアップします。

※併せて、皆さまのHPでも写真をアップしていただければ、より元気を発信できます。

■お申し込み

お近くの協力店に参加を申し込み、リングを受け取り潜るだけ！

※協力店一覧はHPをご覧ください。

★リングの購入について

1つ100円で購入いただきゲストに配布。その収益は支援金に回ります。

※リング見本

..... できること。潜ること。海から元気を

★復興支援について

リングの売上は微々たる金額かもしれませんが、しかし、ダイバーが海に行くことによる経済効果で、ダイビング界を活性化させることも復興支援だと考えます。

■詳細は公式ホームページから <http://www.dekimogu.net/>

■ Facebook ページ <https://www.facebook.com/dekimogu>

■ 問い合わせ：「できること。潜ること。」プロジェクト実行委員会 dekimogu@gmail.com

“できること。潜ること。”プロジェクト

【発足趣旨】

3月11日に発生した東日本大震災。直接的な被害はもちろん、自粛ムードによる影響で、ダイビング界を含むレジャー産業に大きな打撃を与えています。我々ができることは、直接支援だけでなく、よく働き、よく遊び、普通の生活、をしっかりと営むこと。そして、ダイバーができることといえば、潜ること。そこで、まずは元気に潜って、復興支援につながるイベントを企画したいと考え、プロジェクトを発足しました。



【実行委員長あいさつ】

このたびの東日本大震災により、犠牲になられた皆様、被災された皆様方には、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を切に望むばかりです。

思い返せば私にも、北海道南西沖地震で壊滅的被害を受けた奥尻島・青苗地区において、30メートルにも及ぶ大津波に見舞われ、危機一髪生還するという忘れがたい体験があります。

津波は海がもたらした自然災害と思われがちですが、大陸棚のプレートの変動によって大津波がもたらされたことを考えると、海は加害者でもあり、被害者でもあると考えられます。

海に恩恵を受け、海に生かされてきた私たちにとって、悲しい現実には真摯に受け止め、しかし海と向き合っていくという、強い意志も持ち続けたいものです。

ここに、志をひとつとする多くの仲間が集結しました。皆で海に向かうことが復興支援につながる。この思いで私たちは行動します。初ダイビングの感動を思い出しましょう。海も、生きものたちも、私たちの訪れを待っています。一人でも多くのダイバーの参加を願っています。

水中写真家 中村征夫（なかむらいくお）



【実行委員発足までの経緯】

趣旨に賛同してくれるダイバーを、業界内外から広く募集し5月16日にキックオフミーティングを開催。有志による実行委員会を発足し、そこで生まれたアイデアをもとに「できること。潜ること。」プロジェクトとし、5月24日、6月8日、6月15日と会議を開催してまいりました。

【プロジェクト展開】

今後も気軽にダイバーが参加できるオープンな場を目指し、単発のイベントで終わることなく長期的なプロジェクトとしてダイバーによる復興支援を続けていく所存です。

■公式ホームページ <http://www.dekimogu.net/>

■ Facebook ページ <https://www.facebook.com/dekimogu>